

再評価結果（平成27年度事業継続箇所）

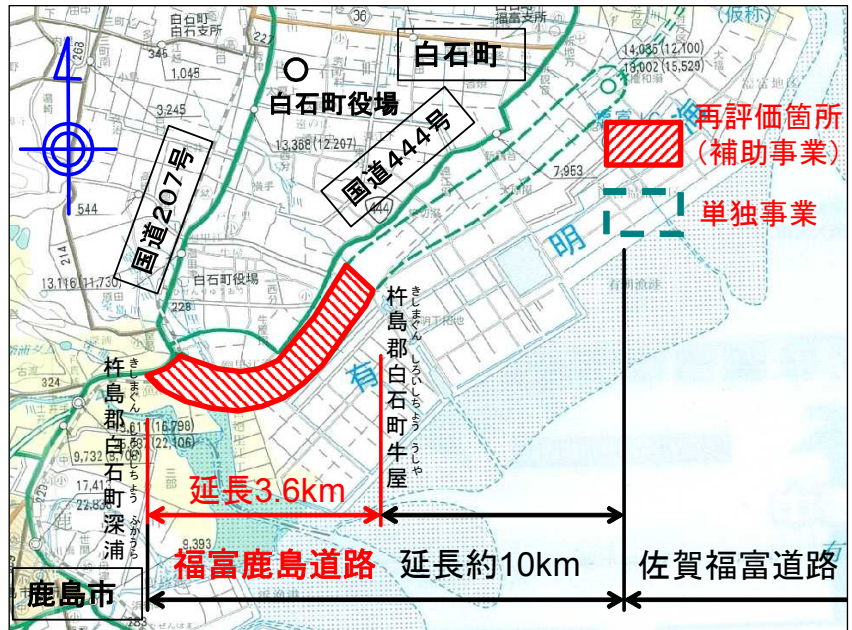
担 当 課：道路局国道・防災課
担当課長名：茅野 牧夫

事業名	地域高規格道路 <small>ありあけかいえんがんどうろ</small> 有明海沿岸道路 一般国道444号 <small>ふくどみかしま</small> 福富鹿島道路	事業区分	一般国道	事業主体	佐賀県
起終点	自：佐賀県杵島郡白石町大字牛屋 <small>きしま しろいしちよう うしや</small> 至：佐賀県杵島郡白石町大字深浦 <small>きしま しろいしちよう ふかうら</small>			延長	3.6km
事業概要					
<p>福富鹿島道路は、有明海沿岸道路の一部を形成し、有明海沿岸地域の各都市間の交流を促進し、有明佐賀空港、重要港湾三池港などの広域交通拠点との連携を強化するとともに、並行する一般国道444号等の混雑緩和・安全性の向上を目的とした道路である。</p>					
平成17年度事業化	都市計画決定	無し	平成一年度用地着手	平成一年度工事着手	
全体事業費	約164億円	事業進捗率	約2%	供用済延長	— km
計画交通量	21,400台/日				
費用対効果 分析結果	B/C	総費用		総便益	基準年 平成26年
	(事業全体)	3.1	(残事業)/ 事業全体 123/127億円 事業費：121/124億円 維持管理費：2.3/2.3億円	(残事業)/ 事業全体 391/391億円 走行時間短縮便益：340/340億円 走行経費減少便益：42/42億円 交通事故減少便益：9.2/9.2億円	
感度分析の結果					
<p>(事業全体) 交通量：B/C=2.8~3.4(交通量 ±10%) (残事業) 交通量：B/C=2.9~3.5(交通量 ±10%) 事業費：B/C=2.8~3.4(事業費 ±10%) 事業費：B/C=2.9~3.5(事業費 ±10%) 事業期間：B/C=2.8~3.2(事業期間±20%) 事業期間：B/C=2.9~3.3(事業期間±20%)</p>					
事業の効果等					
<ul style="list-style-type: none"> ・有明海沿岸地域の各都市間の交流を促進し、有明佐賀空港、重要港湾三池港などの広域交通拠点との連携を強化する ・第三次救急医療施設（佐賀県医療センター好生館）への救急搬送の支援及び救急搬送時間短縮による救命率の向上に寄与する。 ・津波浸水時における国道444号等の代替路としての機能が期待される 					
関係する地方公共団体等の意見					
<ul style="list-style-type: none"> ・佐賀市から鹿島市までの沿線市町、県議会議員、商工会等で構成される有明海沿岸道路建設促進佐賀県期成会（会長：佐賀市長）等により早期整備の要望が行われている。 					
事業評価監視委員会の意見					
<ul style="list-style-type: none"> ・佐賀県公共事業評価監視委員会において、審議の結果「事業継続」が妥当であると認められた。 					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等					
<ul style="list-style-type: none"> ・隣接道路である地域高規格道路「佐賀福富道路」が、平成23年3月に延長1.7kmが開通、平成25年3月には、延長2.8kmが開通するなど、佐賀県内の道路網も順調に整備されている。 					
事業の進捗状況、残事業の内容等					
<ul style="list-style-type: none"> ・用地取得率約0%、事業進捗率約2% ・平成26年度末に、環境影響評価の手続きを完了した。 					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等					
<ul style="list-style-type: none"> ・今後も地元や関係機関と調整を行い、早期事業着手を目指していく。 					
施設の構造や工法の変更等					
<ul style="list-style-type: none"> ・終点部インターチェンジのコンパクト化を行い、コスト縮減を図った。 ・今後も新技術の採用、再生資材や現場発生土の有効活用等により、コスト縮減に努めていく。 					
対応方針	事業継続				
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案すれば、事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。				

事業概要図



福富鹿島道路



- ※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。
- ※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。